

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・区の考えているニーズと実際に拠点での活動を通じて把握しているニーズのすり合わせを行い、共有することができた。
・互いの長所や強みを活かした子育て支援を今後も展開していく方向性を共有できた。

【今後改善が必要と思われること】

・毎年の役割分担を作成する際や新たな事業を計画する際に目標を共有し、確認していく必要を感じた。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・人材育成は広義の意味でとらえること(子育てサークル支援から始まり次世代育成まで)や、地域の子育て支援者、関係団体との連携の大切さを共有した。

【今後改善が必要と思われること】

・SNSやモバイルを使用した周知方法について、積極的なPR方法を再検討をする必要がある。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

・事業発展(プレママなど)の際に、その理由や課題を改めて確認しあうことが大切と共有した。

【今後改善が必要と思われること】

・拠点利用が難しい遠方の区民に対して、出張やアウトリーチの方法を考えていく(例:出張はっち)。
・中学生ボランティア等、地域との交流をより深めていく。
・事業の効果や課題の検証方法、目標の達成度についてを確認していく。
・子育て支援のニーズ及び制度についての情報収集に努めていく。それらに応じた対応を区と拠点でより連携しすすめていく。